

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「景観むらづくり100年 (Land 100)」
事業主体 (連絡先)	白馬村総務課 (北安曇郡白馬村大字北城 7025)
事業区分	5 環境保全、景観形成に関する事業 8 その他地域に元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	773,280 円 (うち支援金: 618,000 円)

事業内容

- 1 景観計画「景観むらづくり100年 (Land 100)」策定事業
- 2 “白馬の未来”と“田舎生活”を体験する、おためし移住事業
- 3 白馬の原風景 奈良井湿園植栽事業

(活動写真)



【景観ワークショップ】

事業効果

- 1 景観計画「景観むらづくり100年 (Land 100)」策定事業
景観専門家をファシリテーター (設計士・芝浦工業大学・名古屋大学) として WS ワークショップ、FW フィールドワークを開催した。高校生から70歳代までの村民、白馬ファン、移住希望者、住民協定地区居住者、学生等が述べ140名が参加。
- 2 “白馬の未来”と“田舎生活”を体験する、おためし移住事業
景観に関連し“おためし移住”を実施した。景観WS、地区行事数珠回、先輩移住者・住民との交流、ジビエBBQ等の体験を通し、“白馬の未来”と“田舎生活”を経験してもらった。7日間、述べ31名参加。
- 3 白馬の原風景 奈良井湿園植栽事業
白馬村神城地区の奈良井は、先人が非常に苦勞し水田作業を営んできた。昭和50年代に圃場整備が完了したが、深刻な湿田地帯であるため十分な耕作が出来ず、地元要望もあり平成24年に農振を解除し、古来原風景に戻す事業を実施中。菜の花を播種した。19名参加。

【目標・ねらい】

- ①白馬の景観について意見交換
- ②景観に関連した移住体験実施
- ③景観を軸にした世代間交流、伝統行事体験
- ④論より証拠の景観植物植栽

※自己評価【 A 】

【理由】

先人から受け継いだ景観について多様な方々が意見交換を行い、未来に残したい景観について語り合うことができたため

今後の取り組み

本事業は景観をキーワードにした、未来づくり事業である。多様な方に携わっていただくことにより、白馬への愛着心と村を思う気持ちの熟成を図る。将来的な定住と白馬ファンの増加に繋がる。第5次総合計画 移住定住の促進 人口の社会増 H32目標値は111人 H26年111人 H29年170人。既に目標値超過であるが更なる増加を目指す。景観WSは約140名参加があり、村の景観について意見交換をした。